

令和2年12月4日

実習実施者
監理団体 各位

外国人技能実習機構

新型コロナウイルス感染症及び防災情報等に関する技能実習生等への周知及び感染した場合の連絡について（依頼）

昨今、世界中で新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、技能実習生が日本における感染症対策を知り、感染予防を徹底することや、居住地における防災情報を知り、いざという時の安全を確保することは、技能実習生の保護の観点から重要です。

当機構では、技能実習生が言語の違いにより新型コロナウイルス感染症や防災情報等の緊急的に必要な情報を得ることが難しいと考えられることから、必要な情報を機構ホームページ等で随時お知らせしておりますが、改めて当該情報を下記のとおりまとめましたので、入国後講習及び朝礼等の場において、技能実習生に対して必ず説明していただくようお願いします。

また、監理団体（又は企業単独型技能実習実施者）におかれましては、実習実施者が受け入れている技能実習生が新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明した場合には、外国人技能実習機構まで速やかに御連絡いただきますよう、お願いします。

記

1 入国後講習等での感染症対策及び防災情報の周知のお願い

（1）新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に関する情報

標記については、令和2年3月3日付け（令和2年5月13日変更）「監理団体及び実習実施者における新型コロナウイルス感染症に関する対応について」（別添1）及び「令和2年9月4日付け『新しい生活様式』を踏まえた、技能実習生に関する新型コロナウイルス感染症の感染防止策について（再周知）」（別添2）により職場における新型コロナウイルス感染症への感染予防や健康管理の強化及び技能実習生が共同で生活している場合の感染防止策の徹底等をお示ししているところですが、基本的な感染予防をさらに徹底いただくよう改めて周知をお願いします。特に、技能実習指導員や生活指導員等は技能実習生の体調把握に努めるとともに、監理団体は監査等で実習実施者における感染予防及び健康管理の取組を確認するようお願いします。

また、スマートフォンを持っている技能実習生については、新型コロナウ

イルス接触確認アプリ「COCOA」の利用勧奨を併せて行っていただきますようお願いいたします。

(参考)

- ・「新型コロナウイルス感染症について」
<https://www.otit.go.jp/CoV2/>
- ・監理団体及び実習実施者における新型コロナウイルス感染症に関する対応について（令和2年3月3日（令和2年5月13日変更））（別添1）
<https://www.otit.go.jp/files/user/docs/200514-2.pdf>
- ・『「新しい生活様式」を踏まえた、技能実習生に関する新型コロナウイルス感染症の感染防止策について（再周知）』（令和2年9月4日）（別添2）
<https://www.otit.go.jp/files/user/docs/200904-22.pdf>
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html
- ・「COVID-19 について色々な国の言葉で説明します」、「地域別の相談窓口はこちら」
<https://www.covid19-info.jp/>

（2）防災情報

地域での生活に不慣れな技能実習生については、近隣の避難場所を確実に教えることや早めの避難を呼びかけることはもとより、情報を得る手段も含めて防災情報の周知が不可欠です。各地域での避難場所の案内等の周知に当たり、災害発生時の情報収集に役立つ以下の情報も周知するなど、技能実習生の安全確保に向けた取組を進めていただきますようお願いいたします。

(参考)

- ・「Safety tips」…災害情報を通知するアプリ（15 言語）



FOR Android



FOR iPhone

- ・「NHK WORLD-JAPAN」（アプリ）…NHK のニュースを発信するアプリ（17 言語）



FOR Android



FOR iPhone

- ・「Japan Safe Travel」…自然災害に関する警報・注意報、交通障害、感染症や熱中症の注意喚起等の情報を発信

（英 語）<https://twitter.com/JapanSafeTravel>

（中国語）<https://www.weibo.com/JapanSafeTravel>

- ・「外国人技能実習機構 防災情報」…都道府県の防災等の情報を掲載するホームページを紹介

<https://www.otit.go.jp/disaster/>

- ・「内閣府 防災情報」…日本の災害情報等を知ることができるアプリ等を紹介(15 言語)
<http://www.bousai.go.jp/kokusai/web/index.html>
- ・「消防庁 救急情報」…119 版通報や救急現場等で使用可能な通訳やアプリ等を紹介
https://www.fdma.go.jp/mission/enrichment/gaikokujin_syougaisya_torikumi/torikumi.html
- ・「気象庁 災害情報」…気象・地震・津波・火山に関する情報を多言語で紹介（15 言語）
<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>
- ・「NHK WORLD-JAPAN」…NHK のニュース等を発信（20 言語）

2 外国人技能実習機構の母国語相談及び SNS の周知のお願い

母国語相談では、技能実習生から 8 言語（※）により電話やメール等で相談できる体制を構築しており、新型コロナウイルス感染症に関することを含め、生活面の相談を受け付けています。また、令和 2 年 9 月から技能実習生の人数が多いベトナム語・中国語について日曜日（9:00～17:00）も対応できるよう拡充を行っています。

※ベトナム語、中国語、インドネシア語、フィリピン語（タガログ語）、英語、タイ語、カンボジア語、ミャンマー語

現下の様々な情勢の変化を受け、当機構では、技能実習生の安全確保に資する情報については迅速に発信していくため SNS を活用しています。

特に、技能実習生の中には、どのようにこれらの情報を得たらいかがかわからない方も多いことから、監理団体・実習実施者側から当機構の相談窓口や SNS を紹介いただくようお願いします。

また、外国人在留支援センター（F R E S C）（※）においても、新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困っている外国人からの電話相談に多言語かつ無料で対応する F R E S C ヘルプデスクを設置し、相談者に対して情報提供を行っています。さらに、お住いの地方公共団体が運営する外国人向け相談窓口では、新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる方の円滑な受診に繋がるよう必要な情報提供等を行っています。

（※）外国人在留支援センター（F R E S C）

<http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/fresc01>

（参考）

- ・「技能実習生向け相談業務の実施」

<https://www.otit.go.jp/files/user/docs/200722-2.pdf>

- ・「困ったときは、相談しよう！」

<https://www.otit.go.jp/notebook/>

- ・「SNS 一覧」

<https://www.otit.go.jp/sns/index.html#twitter>

3 技能実習生が新型コロナウイルス感染症に感染した場合の外国人技能実習機構への連絡のお願い（※）

監理団体（又は企業単独型技能実習実施者）において、実習実施者が受け入れている技能実習生が新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明した場合には、医師、保健所等の指示に基づく対応を適切に行ってください。また、実習実施者の住所地を管轄する外国人技能実習機構事務所・支所の認定課まで速やかに、当該技能実習生に係る情報や感染後の状況及び監理団体等による支援状況（別紙の事項）について御連絡いただくようお願いします。

また、その後、技能実習生の状況等に変更が生じた場合は適宜の御連絡をお

願います。

(※) 本件は出入国在留管理庁の要請を受け、ご協力をお願いするものです。

なお、技能実習を行わせることが困難となった場合には、企業単独型実習実施者又は監理団体は、技能実習実施困難時届出書（省令様式第9号又は第18号）を対象の実習実施者の住所地を管轄する機構の地方事務所・支所の認定課に提出する必要があります。

別紙（項番 3 関係）

連絡事項

※ 以下の事項について、管轄の外国人技能実習機構地方事務所・支所認定課へ郵送でご提出ください。郵送でのご提出に時間を要する場合は、電話で一報をお願いします。

○ 新型コロナウイルス感染症に感染した技能実習生に係る計画認定番号

○ 監理団体名、実習実施者名（全体の従業員数：_____人）、本件連絡に係る担当者名・所属・連絡先

○ 感染を確認した日、同日以降の技能実習生の現状（実習生の所在、入院等の状況等）

※ 現状が実習生ごとに異なる場合には、上記で記載した計画認定番号に適宜番号を付与した上で、人数欄に付記願います。

（例）

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する検査で陽性が判明した日：__／__
- ・ 陽性となった技能実習生の状況：病院に入院（重症____名、軽症____名）
 - ：自宅・寮で待機 _____名
 - ：ホテルで待機 _____名
 - ：その他（_____） _____名
- ・ 職場復帰予定日：__／__

○ その他（陽性が判明した実習生以外の状況等）

※ 技能実習生以外の従業員等の感染状況等、周辺状況についても可能な範囲で記載をお願いします。

（例）

- ・ 新型コロナウイルス感染症の検査で陰性が判明した実習生：_____人
- ・ 同検査の検査結果待ちの実習生：_____人
- ・ 同検査の検査待ちの実習生：_____人
- ・ 上記の_____人の実習生については、保健所等の指示の下自宅待機を行い、____／____に職場復帰見込み

令和2年3月3日
(令和2年5月13日変更)

実習実施者
監理団体 各位

外国人技能実習機構

監理団体及び実習実施者における
新型コロナウイルス感染症に関する対応について

技能実習の実施にあたり、新型コロナウイルス感染症に関して配慮すべき点についてとりまとめましたので、監理団体及び実習実施者におかれては、以下の点に留意し、技能実習の適切な実施に取り組んでいただきますようお願いいたします。

1. 感染防止対策

○ 職場における感染防止対策を徹底するとともに、技能実習生に対して手洗いや咳エチケット、マスク着用などの指導を行ってください。

- ✓職場における予防法としては、まずは手洗いが大切です。こまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗うよう、技能実習生を指導してください。
- ✓咳などの症状がある技能実習生については、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖を使って口や鼻をおさえる「咳エチケット」を行うよう指導してください（咳やくしゃみを手でおさえると、その手で触ったドアノブなどを介して他者に病気をうつす可能性があります。）

【参考】

- ・ 新型コロナウイルスを防ぐには（2020年2月25日改訂版）
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000599643.pdf>（厚労省HP）
- ・ 一般的な感染症対策について
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593493.pdf>（厚労省HP）
※ ホームページには英語版、中国語版も掲載されています。
- ・ 手洗いについて
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593494.pdf>（厚労省HP）
※ ホームページには英語版、中国語版も掲載されています。

- ・ 咳エチケットについて

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593495.pdf>（厚労省HP）

※ ホームページには英語版、中国語版も掲載されています。

- **息苦しさや強いだるさ、高熱等の強い症状のいずれかがあり、新型コロナウイルスの感染が疑われる場合は、実習実施者又は監理団体から「帰国者・接触者相談センター」に連絡してください。**

- ✓ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合には、実習実施者又は監理団体が、最寄りの保健所などに設置される「帰国者・接触者相談センター」に問い合わせを行い、その後、的確な対応を行ってください。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症に関する一般的な相談を行いたい場合は、厚生労働省や都道府県等が設置している電話相談窓口へ相談してください。

【参考】

- ・ 各都道府県が開設している帰国者・接触者相談センター（令和2年2月13日時点）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/covid19-kikokusyasessyokusya.html（厚労省HP）
- ・ 厚生労働省の電話相談窓口
電話番号：0120-565653（フリーダイヤル）
受付時間：9時00分～21時00分（土日・祝日も実施）
- ・ 都道府県・保健所等による電話相談窓口
https://www.kantei.go.jp/jp/pages/corona_news.html（首相官邸HP）

- **監理団体が入国後講習を実施する際にも、感染防止策を徹底するように留意してください。**

- ✓ 石けんによる手洗いだけでなく、講習会場にアルコール消毒薬を設置し、アルコール消毒を行うよう指導してください。
- ✓ 講習会場や受講人数について、座席間の距離が十分とれるようなものとなるよう配慮してください。
- ✓ 講師と受講者の距離が近い場合には、講師と受講者にマスクを着用するよう依頼してください。
- ✓ 発熱等の風邪症状が見られる技能実習生は、講習には参加させないでください。

2. 技能実習生の支援

- 実習実施者や監理団体は、厚生労働省 HP 等の情報を参考に、技能実習生からの相談に的確に対応してください。

- ✓技能実習生の中には、日本語を十分に理解できないために、新型コロナウイルス感染症に対して大きな不安を抱いている方も多と考えられます。
- ✓このため、実習実施者（特に技能実習責任者や生活指導員）、監理団体の相談担当者は、技能実習生の目線に立ち、厚労省HPを参考にしながら、技能実習生からの相談に丁寧に対応してください。
- ✓また、外国人技能実習機構の母国語相談窓口では、新型コロナウイルス感染症に関することを含め、生活面の相談を受け付けていますので、技能実習生に周知してください。

【参考】

- ・ 新型コロナウイルス感染症について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

- 技能実習生が病院に行く場合には、必要に応じ、通訳が同行する等、円滑な受診ができるよう配慮してください。

- ✓技能実習生が日本語が不得意な場合、症状をうまく医療機関に伝えられなかったり、医師からの指示を十分に理解できなかったりすることが考えられます。
- ✓技能実習生が病院に行く場合は、必要に応じ通訳が同行するなど、円滑な受診ができるよう配慮してください。

【参考】

- ・ 外国人患者を受け入れる医療機関
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_05774.html

3. 実習環境の整備

- 発熱などの風邪症状が見られる技能実習生が休みやすいような環境を整備してください。

✓技能実習生に発熱などの風邪の症状があるときは、休ませてください。休んでいただくことは技能実習生本人のためになるだけでなく、会社にとっても、感染拡大の防止にもつながる大切な行動です。

【参考】

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00018.html#Q1（厚労省HP）

- 技能実習生の労務管理にあたっては、日本人労働者と同様の取扱いをしなければならないことについて改めて留意してください。

✓労働関係法令については、技能実習生についても日本人労働者と同様に適用されます。

✓新型コロナウイルスを原因とする休業の取扱いなどについても、日本人労働者と同様の取扱いが必要になります。

【参考】

- ・ 新型コロナウイルス感染症に関する企業（労務）の方向け Q&A（令和 2 年 2 月 25 日版）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00007.html

令和2年9月4日

実習実施者
監理団体 各位

外国人技能実習機構

「新しい生活様式」を踏まえた、技能実習生に関する
新型コロナウイルス感染症の感染防止策について（再周知）

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は全国的に増加傾向にあり、一部地域では感染拡大のスピードが増しています。

集団感染も発生している中、集団で仕事や生活を行っている技能実習生の感染予防を徹底することが重要となっており、技能実習の実施にあたり、技能実習生が働いたり生活をしたりする場において、基本的な感染予防を徹底いただくよう、引き続き配慮をお願いします。

その際、特に次の点について、入国後講習の場や朝礼の場で、別添資料も活用いただきながら、技能実習生にも丁寧に説明していただくようお願いします。

【別添資料】

「技能実習生の皆様へ 新型コロナウイルス感染症の予防のため、注意すること」

○ 職場における新型コロナウイルス感染症への感染予防、健康管理の強化を図ってください。

- ・実習実施者が感染予防対策等を徹底するよう、改めて周知をお願いします。
- ・感染予防対策等を行う場合には、「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」などを活用して下さい。

（参考）

厚生労働省ホームページ

「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」：<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000657476.xlsx>

- ・技能実習生の毎日の体調を確認し、発熱や風邪の症状（咳、喉の痛み、倦怠感）など体調がいつもと異なる場合は技能実習指導員や生活指導員等すぐに連絡するように説明してください。保健所や帰国者・接触者相談センターに連絡し、その指示に従って下さい。また、体調不良者と他の者ができるだけ接触しないように配慮してください。

○ **技能実習生が共同で生活している場合には、以下のことに気を付けて、感染防止策を徹底してください。**

・技能実習生に別添資料を使い、読み上げるなどして丁寧に説明して下さい。朝礼の場や生活指導を行う際に実習生が理解できているかなど確認するなど感染防止策を徹底して下さい。

- ✓ こまめな手洗い（30 秒程度かけて水と石鹸で丁寧に洗う（アルコール手指消毒薬の使用も可））、咳エチケットの徹底、居住スペースのこまめな換気をしてください。
- ✓ 人との間隔は、できるだけ2 m（最低1 m）空けてください。
- ✓ 会話や食事の際は、可能な限り真正面を避け、横並びで座ってください。また、食事の際は、大皿は避けて、個々のお皿から食事をするようにしてください。
- ✓ 他の技能実習生と相部屋の場合は、少なくとも2 m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置したりするようにしてください。さらに、寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしてください。
- ✓ 他の人と共有する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にしてください（手ふきタオルを分けるなど）。
- ✓ 複数の人の手が触れる場所（エレベーターやトイレなど）や部屋の設備（リモコン、冷蔵庫、照明スイッチ、ドライヤーなど）を定期的に消毒してください。
- ✓ 手や口が触れるようなもの（コップ、箸、スプーンなど）は、使うたびに適切に洗浄や消毒をし、または使い捨ての物を利用してください。
- ✓ 風呂場を複数人で利用している場合は、同時に入浴することを避けるなど、一度の利用人数を少なくしてください。

（参考：「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」（第1版））

<https://www.jcha.or.jp/admin/app/webroot/files/upload/5ed718e1-b1dc-4620-a362-4ceb963c4eee.pdf>

○ **熱中症を予防するため、以下のことに気を付けてください。**

- ✓ 熱中症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整するなどの方法で、暑さを避けられるようにしてください。
- ✓ 気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意です。屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合にはマスクをはずしてください。

✓ 熱中症のリスクがある場合は、重い物を持つなどの身体への負担が大きい作業を避けるとともに、こまめに休憩をとるようにしましょう。また、屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、適宜マスクをはずして休憩を取りましょう。

✓ のどの渇きを感じなくても、作業前後及び作業中において、定期的に水分及び塩分を摂取するようにしましょう。

※マスクで口が覆われることにより、のどの渇きを感じにくくなる場合があります。

✓ 高温多湿の場所で作業を行う場合、睡眠不足、体調不良、前日の飲酒や朝食をとっていないこと等が熱中症の発症に影響を与えるおそれがあることに留意の上、日常の健康管理を行いましょう。

✓ 吐き気やめまいを感じるなど体調が悪そうだと感じた時は、すぐに技能実習指導員や生活指導員等に申し出るとともに、体を冷やす、水分補給をするなどしてください。そのほか、体調が優れない時は遠慮なく技能実習指導員や生活指導員等に申し出て、自宅で静養してください。

(参考)

外国人技能実習機構HP [熱中症対策特設ページ] ※各種リーフレットを各言語等に翻訳しておりますので、技能実習生に対する周知にあたり、ご活用ください。

<https://www.otit.go.jp/heatstroke/>

▷厚生労働省HP

熱中症関連情報 [厚生労働省の取組、報道発表資料・関連通知、など]

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/

職場における熱中症予防対策 [学ぼう！備えよう！職場の仲間を守ろう！職場における熱中症予防情報]

<https://neccyusho.mhlw.go.jp/>

「健康のため水を飲もう」推進運動

<https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/nomou/>

▷環境省

熱中症予防情報 [暑さ指数（WBGT）予報、熱中症環境保健マニュアル、熱中症予防リーフレットなど]

<http://www.wbgt.env.go.jp/>

▷気象庁

熱中症から身を守るために [気温の予測情報、天気予報など]

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kurashi/nettsu.html>

早期天候情報

<http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>

▷消防庁

熱中症情報 [熱中症による救急搬送の状況など]

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html

新型(しんがた)コロナウイルス感染症(かんせんしょう)の 予防(よぼう)のため、注意(ちゅうい)すること

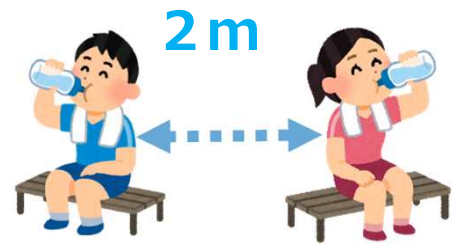
仕事(しごと)に行(い)く前(まえ)

- 体温計(たいおんけい)で熱(ねつ)を測(はかり)、①熱(ねつ)が 37.5°C (ど)以上(いじょう)ある、②だるいなど風邪(かぜ)の症状(しょうじょう)があるなど、いつもと体調(たいちょう)が違(ちが)う場合(ばあい)は、技能実習指導員(ぎのうじっしゅうしどういん)や生活指導員(せいかつしどういん)に連絡(れんらく)しましょう。



出(で)かけるとき

- 体調(たいちょう)が悪(わる)いときは外出(がいしゅつ)をやめましょう。
- マスクをして出(で)かけましょう。暑(あつ)い日(ひ)は熱中症(ねっちゅうしょう)に気(き)を付(つ)け、屋外(おくがい)で他(ほか)の人(ひと)と離(はな)れているとき(2メートル)はマスクを外(はず)しましょう。



外(そと)から帰(かえ)ってきたとき

- 石(せっ)けんをつかって、ていねいに手(て)を洗(あら)いましょう。タオルは自分(じぶん)のものを使(つか)いましょう。
- 使(つか)い終(お)わったマスクやティッシュ、手袋(てぶくろ)などを捨(す)てるときは、他(ほか)の人(ひと)が触(ふ)れないように、ゴミ袋(ぶくろ)の口(くち)をしっかりとしばって捨(す)てましょう。



他(ほか)の人(ひと)と一緒(いっしょ)に暮(く)らしているとき

- 家(いえ)の中(なか)でも、他(ほか)の人(ひと)と離(はな)れる(2メートル)ようにしましょう。
- 会話(かいわ)をするときはマスクをし、大(おお)きな声(こえ)にならないようにしましょう。
- せきやくしゃみをした後(あと)には手(て)を洗(あら)いましょう。タオルは自分(じぶん)のものを使(つか)いましょう。
- 1時間(じかん)に2回(かい)程度(ていど)、窓(まど)を開(あ)けて空気(くうき)を入(い)れ換(か)えましょう。
- 他(ほか)の人(ひと)と一緒(いっしょ)に使(つか)っているもの(リモコン、冷蔵庫(れいぞうこ)、照明(しょうめい)スイッチ、ドライヤー)は使(つか)った後(あと)に消毒(しょうどく)しましょう。
- トイレを使(つか)った後(あと)はふたを閉(し)めて水(みず)を流(なが)しましょう。

【食事(しょくじ)をするとき】

- 食事(しょくじ)をする前(まえ)、した後(あと)に手(て)を洗(あら)いましょう。タオルは自分(じぶん)のものを使(つか)いましょう。
- 食事(しょくじ)のときはできるだけ横並(よこなら)びですわりましょう。
- 食事(しょくじ)は一人一人(ひとりひとり)、別(べつ)のお皿(さら)に用意(ようい)しましょう。



他(ほか)の人(ひと)と一緒に(いっしょ)に暮(く)らしているとき

【入浴(にゅうよく)するとき】

- ・タオルは自分(じぶん)のものを使(つか)いましょう。
- ・一人(ひとり)ずつ、順番(じゅんばん)にお風呂(ふろ)を使(つか)いましょう。

【寝(ね)るとき】

- ・同(おな)じ部屋(へや)でほかの人(ひと)と寝(ね)るときには、できるだけ離(はな)れて寝(ね)ましょう。
- ・できるだけ頭(あたま)の位置(いち)が互(たが)い違(ちが)いになるようにしましょう。

熱中症(ねっちゅうしょう)に気(き)を付(つ)けましょう

- ・熱中症予防(ねっちゅうしょうよぼう)のため、窓(まど)を開(あ)けて空気(くうき)を入(い)れ換(か)えましょう。
エアコンの温度設定(おんどせってい)をこまめに調整(ちょうせい)して、暑(あつ)さを避(さ)けられるようにしてください。
- ・気温(きおん)、湿度(しつど)の高(たか)いときには、外(そと)で他(ほか)の人(ひと)と離(はな)れているとき(2メートル以上(いじょう))はマスクをはずしましょう。
- ・マスク着用時(ちやくようじ)は激(はげ)しい運動(うんどう)は避(さ)け、周囲(しゅうい)の人(ひと)との距離(きょり)を十分(じゅうぶん)にとれる場所(ばしょ)で、マスクを一時的(いちじてき)にはずして休憩(きゅうけい)しましょう。
- ・のどが渴(かわ)いていなくても水分(すいぶん)をとりましょう(1日(にち)1. 2リットル)。
- ・吐(は)き気(け)やめまいを感(かん)じたときは、すぐに技能実習指導員(ぎのうじっしゅうしどういん)や生活指導員(せいかつしどういん)などに伝(つた)えましょう。
体(からだ)を冷(ひ)やして、水分(すいぶん)をとりましょう。体調(たいちょう)が悪(わる)いときには、家(いえ)で休(やす)みましょう。



※さらに詳(くわ)しいことを知(し)りたいときは、以下(いか)のサイトをみてください。

- 新型(しんがた)コロナウイルス感染症(かんせんしょう)の予防(よぼう)について
http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00046.html
- 熱中症(ねっちゅうしょう)の予防(よぼう)について
<https://www.otit.go.jp/heatstroke/>



厚生労働省(こうせいろうどうしょう)・法務省出入国在留管理庁(ほうむしょうしゅつにゅうこくざいりゅうかんりちよう)

厚生労働省HP
こうせいろうどうしょう
ホームページ



外国人技能実習機構HP
がいこくじんぎのうじっしゅうきこう
ホームページ



新型(しんがた)コロナウイルス感染症(かんせんしょう)の 予防(よぼう)のため、注意(ちゅうい)すること

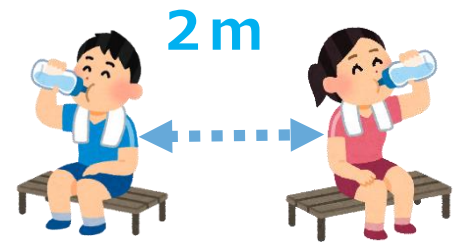
仕事(しごと)に行(い)く前(まえ)

- 体温計(たいおんけい)で熱(ねつ)を測(はか)り、①熱(ねつ)が 37.5°C (ど)以上(いじょう)ある、②だるいなど風邪(かぜ)の症状(しょうじょう)があるなど、いつもと体調(たいちょう)が違(ちが)うときは、技能実習指導員(ぎのうじっしゅうしどういん)や生活指導員(せいかつしどういん)に連絡(れんらく)しましょう。



出(で)かけるとき

- 体調(たいちょう)が悪(わる)いときは外出(がいしゅつ)をやめましょう。
- マスクをして出(で)かけましょう。暑(あつ)い日(ひ)は熱中症(ねっちゅうしょう)に気(き)を付(つ)け、建物(たてもの)の外(そと)で他(ほか)の人(ひと)と離(はな)れているとき(2メートル)はマスクを外(はず)しましょう。



外(そと)から帰(かえ)ってきたとき

- 石(せっ)けんをつかって、ていねいに手(て)を洗(あら)いましょう。タオルは自分(じぶん)のものを使(つか)いましょう。
- 使(つか)い終(お)わったマスクやティッシュ、手袋(てぶくろ)などを捨(す)てるときは、他(ほか)の人(ひと)が触(ふ)れないように、ゴミ袋(ぶくろ)をしっかりと捨(す)てましょう。



他(ほか)の人(ひと)と一緒(いっしょ)に暮(く)らしているとき

- 家(いえ)の中(なか)でも、他(ほか)の人(ひと)と離(はな)れる(2メートル)ようにしましょう。
- 会話(かいわ)をするときはマスクをし、大(おお)きな声(こえ)にならないようにしましょう。
- せきやくしゃみをした後(あと)には手(て)を洗(あら)いましょう。タオルは自分(じぶん)のものを使(つか)いましょう。
- 1時間(じかん)に2回(かい)程度(ていど)、窓(まど)を開(あ)けて空気(くうき)を入(い)れ換(か)えましょう。
- 他(ほか)の人(ひと)と一緒(いっしょ)に使(つか)っているもの(リモコン、冷蔵庫(れいぞうこ)、明(あ)かりのスイッチ、ドライヤー)は使(つか)った後(あと)に消毒(しょうどく)しましょう。
- トイレを使(つか)った後(あと)はふたを閉(し)めて水(みず)を流(なが)しましょう。

【食事(しょくじ)をするとき】

- 食事(しょくじ)をする前(まえ)、した後(あと)に手(て)を洗(あら)いましょう。タオルは自分(じぶん)のものを使(つか)いましょう。
- 食事(しょくじ)のときはできるだけ横(よこ)に並(なら)んですわりましょう。
- 食事(しょくじ)は一人一人(ひとりひとり)、別(べつ)のお皿(さら)に用意(ようい)しましょう。



他(ほか)の人(ひと)と一緒に(いっしょ)に暮(く)らしているとき

【入浴(にゅうよく)するとき】

- ・タオルは自分(じぶん)のものを使(つか)いましょう。
- ・一人(ひとり)ずつ、お風呂(ふろ)を使(つか)いましょう。

【寝(ね)るとき】

- ・同(おな)じ部屋(へや)でほかの人(ひと)と寝(ね)るときには、できるだけ離(はな)れて寝(ね)ましょう。
- ・できるだけ頭(あたま)の向(む)きが同(おな)じにならないようにしましょう。

熱中症(ねっちゅうしょう)に気(き)を付(つ)けましょう

- ・熱中症予防(ねっちゅうしょうよぼう)のため、窓(まど)を開(あ)けて空気(くうき)を入(い)れ換(か)えましょう。
エアコンの温度設定(おんどせってい)をなんども調整(ちょうせい)して、暑(あつ)さを避(さ)けられるようにしてください。
- ・気温(きおん)、湿度(しつど)の高(たか)いときには、外(そと)で他(ほか)の人(ひと)と離(はな)れているとき(2メートル以上(いじょう))はマスクをはずしましょう。
- ・マスクしているときはたいへんな運動(うんどう)は避(さ)け、まわりの人(ひと)との距離(きょり)を十分(じゅうぶん)にとれる場所(ばしょ)で、マスクをはずして休(やす)みましょう。
- ・のどが渴(かわ)いていなくても水分(すいぶん)をとりましょう(1日(にち)1.2リットル)。
- ・吐(は)き気(け)やめまいを感(かん)じたときは、すぐに技能実習指導員(ぎのうじっしゅうしどういん)や生活指導員(せいかつしどういん)などに伝(つた)えましょう。
体(からだ)を冷(ひ)やして、水分(すいぶん)をとりましょう。体調(たいちょう)が悪(わる)いときには、家(いえ)で休(やす)みましょう。



※さらに詳(くわ)しいことを知(し)りたいときは、以下(いか)のサイトをみてください。

- 新型(しんがた)コロナウイルス感染症(かんせんしょう)の予防(よぼう)について
http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00046.html
- 熱中症(ねっちゅうしょう)の予防(よぼう)について
<https://www.otit.go.jp/heatstroke/>



厚生労働省(こうせいろうどうしょう)・法務省出入国在留管理庁(ほうむしょうしゅつにゅうこくざいりゅうかんりちょう)

厚生労働省HP
こうせいろうどうしょう
ホームページ



外国人技能実習機構HP
がいこくじんぎのうじっしゅうきこう
ホームページ



预防新型冠状病毒感染症注意事项

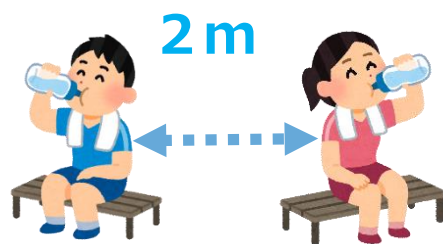
上班前

- 用体温计测量体温。①体温为 37.5°C 以上，②有乏力等感冒症状、并且感觉身体状况与平时不同的，请联系技能实习指导员或生活指导员。



出门时

- 出现身体不适时请不要外出。
- 外出要佩戴口罩。在炎热的天气要注意中暑，在户外与他人保持一定距离（2米）时，可以摘掉口罩。



外出回家时

- 使用肥皂仔细洗手，毛巾要使用自己的毛巾。
- 在扔掉使用后的口罩、纸巾和手套等时，为了避免他人触碰，请将垃圾袋口紧紧地系好。



与他人一起同住时

- 即使在家中，也要与其他人保持一定的（2米）距离。
- 会话交流时要佩戴口罩，注意不要大声喧哗。
- 在咳嗽或打喷嚏后要洗手，毛巾请使用自己的毛巾。
- 每1小时要打开两次窗户进行通风换气。
- 与其他人共同使用的物品（遥控、冰箱、照明开关、吹风机），使用后要进行消毒。
- 使用卫生间后，要先盖好马桶盖后再冲水。

【用餐时】

- 用餐前后要洗手。毛巾请使用自己的毛巾。
- 用餐时，尽量横向并排就坐。
- 备餐时，请使用个人单独餐具准备用餐。



与他人一起同住时

【入浴时】

- 毛巾请使用自己的毛巾。
- 请按顺序依次一个一个的使用浴室。

【就寝时】

- 与其他人在同一房间就寝时，尽可能的保持距离就寝。
- 尽可能的将头部的的位置相互错开。

注意中暑

- 为了预防中暑，要打开窗户进行通风换气。
为了避免高温，请注意经常调节空调的设定温度。
- 高温高湿时节，在户外与他人可以保持一定距离（2米以上）时，可以摘掉口罩。
- 佩戴口罩时，要避免做激烈运动。在与周围的人能保持充分距离的场所，可以暂时在掉口罩进行休息。
- 即使不感到口渴也要补充水分（一天1.2升水）。
- 感到恶心和头晕时，请立刻告诉技能实习指导员或生活指导员指導員等。
要降低体温、补充水分。感到身体不适时，请在家休息。



※希望了解更加详细信息的，请访问阅览以下网站。

■关于预防新型冠状病毒感染症

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00046.html

■关于预防中暑

<https://www.otit.go.jp/heatstroke/>

厚生劳动省官网



外国人技能实习机构官网



厚生劳动省・法务省出入国在留管理厅

Những điểm cần lưu ý để phòng chống cảm nhiễm Virút Côrona

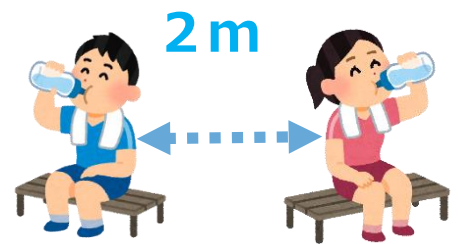
Trước khi đi làm

- Hãy sử dụng ống nhiệt kế để đo nhiệt độ cơ thể trước khi đi làm. ① Có nhiệt độ trên 37.5°C, ② Có triệu chứng mệt mỏi giống như đang bị cảm cúm hoặc sốt v.v., trường hợp nếu cảm thấy sức khỏe của mình có khác thường so với mọi hôm, thì hãy liên lạc đến người quản lý Thực Tập Sinh của công ty và đến người quản lý Thực Tập Sinh của nghiệp đoàn.



Khi đi ra ngoài

- Khi cảm thấy không được khỏe thì không nên đi ra ngoài.
- Hãy mang khẩu trang khi ra ngoài. Thời tiết hôm nào cảm thấy oi bức, chúng ta hãy cẩn thận với việc bị cảm nắng. Khi đang ở bên ngoài và có thể giữ được khoảng cách (2m) với người khác thì chúng ta hãy nên tháo khẩu trang.



Khi về từ bên ngoài

- Hãy rửa tay bằng xà phòng cho thật kỹ lưỡng
Hãy sử dụng khăn tay riêng của mình.
- Khi vứt bỏ khẩu trang, khăn giấy, bao tay, thì hãy bỏ vào túi nilon rác và buộc cho thật chặt miệng túi rác lại rồi hãy mang đi vứt để tránh cho người khác sờ phải.



Khi sống cùng người khác

- Khi ở trong nhà, chúng ta cũng cần phải giữ khoảng cách (2m) với người khác.
- Khi nói chuyện, nên đeo khẩu trang và giữ âm thanh giọng nói của mình được vừa phải.
- Hãy rửa tay kỹ lưỡng sau khi bị ho và hắt hơi,
Hãy sử dụng khăn tay riêng của mình.
- Hãy mở cửa sổ, để thay đổi không khí trong phòng, khoảng 2 lần trong 1 tiếng đồng hồ.
- Hãy sát trùng những đồ vật có người khác dùng chung (điều khiển máy, tủ lạnh, công tắc điện, máy sấy tóc) sau khi bạn đã dùng.
- Hãy đóng nắp bồn cầu rồi xả nước sau khi đã sử dụng.

【Khi ăn cơm】

- Hãy rửa tay thật kỹ lưỡng trước và sau khi ăn cơm.
Và hãy sử dụng khăn tay riêng của mình.
- Nếu có khả năng thì nên hãy ngồi ngang cạnh nhau khi ăn cơm.
- Hãy chuẩn bị cho mỗi người mỗi đĩa riêng khi ăn cơm.



Khi sống cùng người khác

【Khi đi tắm】

- Hãy sử dụng khăn tắm riêng của mình.
- Hãy sử dụng phòng tắm theo luân tự.

【Khi đi ngủ】

- Nếu có khả năng thì nên giữ khoảng cách xa với nhau khi ngủ cùng phòng với người khác.
- Nếu có khả năng thì hãy nên ngủ kiểu quay đầu nghịch hướng với nhau.

Hãy thận trọng với triệu chứng cảm nắng

- Để phòng chống triệu chứng cảm nắng, hãy mở cửa sổ để thay đổi không khí trong phòng. Hãy điều chỉnh nhiệt độ trong phòng thường xuyên để tránh việc bị nóng oi bức.
- Khi ở bên ngoài trong lúc nhiệt độ và độ ẩm cao, đồng thời hãy nên tháo khẩu trang khi giữ được khoảng cách (2m) với người khác .
- Hãy tránh việc vận động quá sức khi mang khẩu trang, và khi giữ được khoảng cách được với người xung quanh, ta hãy nên tháo khẩu trang ra để tạm nghỉ ngơi.
- Mặc dù cảm thấy chưa bị khát nước, nhưng ta vẫn nên uống nước thường xuyên (một ngày khoảng 1, 2 lít nước).
- Khi cảm thấy mệt mỏi (buồn nôn), chóng mặt thì hãy nên liên lạc đến cho người quản lý Thực Tập Sinh của công ty và đến người quản lý Thực Tập Sinh của nghiệp đoàn. Nên làm cho cơ thể mát hơn và cũng nên uống nước thường xuyên vào. Khi cảm thấy người không được khỏe thì nên ở nhà để nghỉ ngơi.



※ Muốn biết thêm chi, xin hãy vào tham khảo trang nhà dưới đây.

■ Về phương pháp phòng chống triệu chứng cảm nhiễm Cờnô

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00046.html

■ Về phương pháp phòng chống triệu chứng cảm nắng

<https://www.otit.go.jp/heatstroke/>

Trang nhà Bộ lao động
an sinh xã hội Nhật Bản

Trang nhà
Cơ quan quản lý
Thực tập sinh người ngoại quốc



Bộ lao động an sinh xã hội Nhật Bản • Cục quản lý xuất nhập cảnh • Cơ quan quản lý
Thực tập sinh người ngoại quốc

LL020827開海01

Pag-iingat sa Coronavirus Infectious Disease (COVID-19)

Bago pumasok sa trabaho

- Kunin ang iyong temperatura

1) May temperatura ka na 37.5°C o pataas.

2) May sintomas ka ng sipon at matamlay ang pakiramdam, o iba pa.

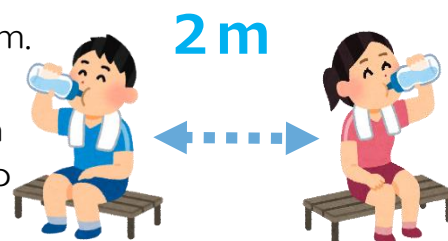
Kung may kaibahan sa nararamdaman at hindi maganda ito, kontakin ang technical instructor o ang iyong daily life instructor.



Kapag lalabas

- Iwasan ang paglabas kung hindi mabuti ang pakiramdam.
- Magsuot ng mask kapag lalabas.

Sa mga maiinit na araw, mag-ingat sa heat stroke at alisin ang mask kapag nasa labas at malayo ng dalawang metro mula sa ibang tao.



Pag umuwi na ng bahay

- Hugasang mabuti ang kamay ng sabon at tubig.

Gamitin ang sariling tuwalya.

- Kapag magtatapon ng mga ginamit na masks, tissues, gloves, atbp., siguraduhin na saradong mabuti ang bukasang ng supot ng basura para hindi ito mahawakan ng iba.



Kapag namumuhay na may kasamang iba

- Kahit sa bahay, panatilihin ang layo na distansyang dalawang metro sa ibang tao.
- Kapag makikipag-usap, magsuot ng mask at iwasan ang malakas na boses.
- Hugasan ang kamay kapag bumahing at umubo.
Gamitin ang sariling tuwalya
- Buksan ang bintana ng dalawang beses sa isang oras para mapalitan ang hangin.
- I-disinfect ang mga gamit (remote control, refrigerator, switch ng ilaw, dryer) na ginagamit din ng mga kasamahan mo sa bahay.
- Ibaba ang cover ng toilet bowl at i-flush pagkatapos gamitin.

【Kapag kakain】

- Hugasan ang kamay bago at pagkatapos kumain.
Gamitin ang sariling tuwalya.
- Hanggat maaari, umupo ng nakahilera at may distansya kapag kumakain.
- Maghanda ng pagkain na hiwa-hiwalay ang plato.



Kapag namumuhay na may kasamang iba

【Sa pagligo】

- Gamitin ang sariling tuwalya.
- Magsalitan sa paggamit ng banyo.

【Sa pagtulog】

- Kung may kasama kang matulog sa kuwarto, panatilihin na may distansya hanggat maaari.
- Kapag matutulog, magkasalungat dapat ang posisyon ng inyong ulo.

Mag-ingat tayo sa heat stroke

- Upang maiwasan ang heat stroke, buksan ang bintana at palitan ang hangin.
Palagiang i-adjust ang temperature setting ng aircon para maiwasan ang init.
- Tanggalin ang mask kung mataas ang temperature at humidity.
Gayundin kung ikaw ay nasa labas at may layong 2 metro mula sa ibang tao.
- Iwasan ang strenuous exercise kapag naka-mask, at pansamantalang tanggalin ang mask at mag-pahinga sa isang lugar na may sapat na distansya mula sa mga tao sa paligid mo.
- Uminom ng tubig kahit hindi nauuhaw (mga 1.2 litro sa isang araw).
- Kung nasusuka o nahihilo, sabihin agad sa technical instructor o sa iyong life instructor.
Panatilihing presko ang katawan at uminom ng tubig. Kapag masama ang pakiramdam, magpahinga sa bahay.



※ Para sa iba pang detalye, bisitahin ang website na nakalagay sa ibaba

■Ukol sa prevention ng coronavirus infectious disease (COVID-19)

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00046.html

■Ukol sa prevention ng heat stroke

<https://www.otit.go.jp/heatstroke/>



Ministry of Health,
Labor and Welfare
HP



Organization for Technical
Intern Training
HP



Ministry of Health, Labour and Welfare · Ministry of Justice, Immigration Bureau

Organization for Technical Intern Training

LL020827開海01

Kepada Yth. Seluruh Peserta Magang

Hal-hal yang Harus Diperhatikan untuk Mencegah Penularan COVID-19

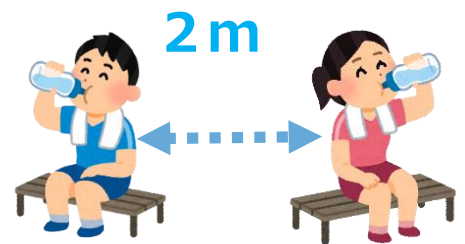
Sebelum Pergi Bekerja

- Mengukur suhu tubuh dengan alat pengukur suhu tubuh, dan jika kondisi tubuh Anda tidak normal seperti 1) demam lebih dari 37,5 derajat Celsius, 2) ada gejala pilek seperti lemas, maka hubungi pembimbing pemagangan atau pembimbing kehidupan.



Ketika Pergi Keluar Rumah

- Jika merasa tidak enak badan, jangan pergi keluar rumah.
- Mengenakan masker saat pergi keluar rumah. Berhati-hati dengan sengatan panas di hari yang panas, dan melepas masker bila berjarak (dua meter) dengan orang lain saat berada di luar ruangan.



Ketika Sampai di Rumah dari Bepergian

- Mencuci tangan pakai sabun dengan baik dan benar. Menggunakan handuk milik sendiri.
- Bila membuang masker, tisu, sarung tangan dll. setelah selesai digunakan, ujung kantong sampah diikat kencang agar tidak disentuh orang lain kemudian dibuang.



Bila Tinggal Serumah dengan Orang Lain

- Di dalam rumah pun usahakan untuk berjarak (dua meter) dengan orang lain.
- Saat berbicara, memakai masker dan jangan terlalu keras suaranya.
- Mencuci tangan setelah berbatuk atau bersin. Menggunakan handuk milik sendiri.
- Mengganti udara dengan membuka jendela sekitar dua kali perjam.
- Disinfektan benda-benda (*remote control*/telekomando, kulkas, saklar lampu, pengering rambut) yang digunakan bersama dengan orang lain setelah digunakan.
- Setelah menggunakan toilet, tutup kloset dan membilas.

[Saat Makan]

- Mencuci tangan sebelum dan sesudah makan. Menggunakan handuk milik sendiri.
- Sebisa mungkin duduk sebalahan saat makan.
- Makanan disiapkan di piring terpisah untuk setiap orang.



Bila Tinggal Serumah dengan Orang Lain

【Ketika Mandi】

- Menggunakan handuk milik sendiri.
- Menggunakan kamar mandi secara bergantian seorang demi seorang.

【Ketika Tidur】

Ketika tidur sekamar dengan orang lain:

- sedapat-dapatnya tidur berjauhan.
- sebisa-bisanya posisi kepala berlawanan arah satu sama lain.

Berhati-hati dengan Sengatan Panas

- Mengganti udara dengan membuka jendela untuk mencegah sengatan panas.
Sering mengatur *setting* suhu AC agar dapat menghindari kepanasan.
- Ketika suhu dan kelembaban udara tinggi, dan bila jauh dari orang lain (lebih dari dua meter) di luar ruangan, maka melepas masker.
- Saat mengenakan masker, hindari olahraga berat, dan beristirahatlah dengan melepas masker untuk sementara di tempat yang dapat menjaga jarak yang cukup dengan orang di sekitarnya.
- Meskipun tidak haus, minum air (1,2 liter dalam sehari).
- Saat Anda merasa mual atau pusing, segera memberitahukan kepada pembimbing pemagangan atau pembimbing kehidupan, dan sebagainya. Mendinginkan tubuh Anda dan minum air. Beristirahatlah di rumah saat kondisi tubuh tidak sehat.



※Untuk informasi lebih detail, silakan lihat situs di bawah ini.

■Tentang Pencegahan Penularan COVID-19

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00046.html

■Tentang Pencegahan Sengatan Panas

<https://www.otit.go.jp/heatstroke/>

Homepage
Kementerian Kesehatan,
Ketenagakerjaan, dan
Kesejahteraan



Homepage
Organisasi
Pemagangan
WNA



Kementerian Kesehatan, Ketenagakerjaan, dan Kesejahteraan
Badan Imigrasi, Kementerian Kehakiman

การระวังเพื่อป้องกันการติดโรคติดเชื้อโคโรนาสายพันธุ์ใหม่

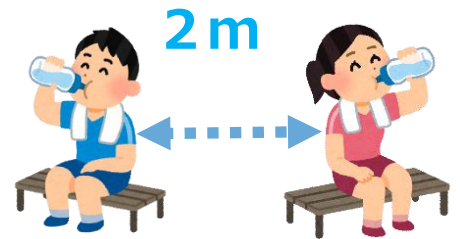
ก่อนไปทำงาน

- วัดอุณหภูมิความร้อนของร่างกายด้วยปรอทวัดอุณหภูมิ หาก①มีอุณหภูมิสูงกว่า 37.5°C (องศา)
- ②มีอาการเมื่อยล้าต่างๆ มีอาการของไข้หวัด กรณีสภาพร่างกายต่างไปจากที่เคย ให้แจ้งผู้กำกับดูแลการฝึกงานด้านเทคนิคและผู้กำกับดูแลเรื่องการใช้ชีวิตของผู้ฝึกงานด้านเทคนิค



เมื่อออกไปข้างนอก

- เมื่อรู้สึกไม่สบาย ขอให้ย้ายออกไปข้างนอก
- ขอให้สวมหน้ากากอนามัยเมื่อออกข้างนอก ในวันที่อากาศร้อนขอให้ระมัดระวังอาการโรคลมแดด เมื่ออยู่ข้างนอกหากรักษาระยะห่างที่เหมาะสมระหว่างผู้อื่นได้ (2 เมตร) ก็ขอให้ถอดหน้ากาก



เมื่อกลับมาจากการออกไปข้างนอก

- ขอให้ใช้สบู่ล้างมืออย่างจริงจัง ผ้าขนหนูเช็ดมือก็ขอให้ใช้ของตัวเอง
- เมื่อจะทิ้ง หน้ากากอนามัยและทิชชูที่ใช้แล้ว ถูมือต่างๆ ขอให้มัดปิดปากถุงขยะให้แน่นแล้วจึงทิ้ง เพื่อไม่ให้ผู้อื่นมาสัมผัสโดน



เมื่อใช้ชีวิตอยู่ร่วมกับคนอื่นๆ

- แม้จะเป็นในบ้าน ขอให้อยู่ห่างกับคนอื่นในระยะ 2 เมตร
- สวมหน้ากากอนามัยเมื่อมีการสนทนากัน ขอให้ไม่พูดเสียงดัง
- หลังจากไอหรือจามแล้ว ขอให้ล้างมือด้วย ขอให้ใช้ผ้าขนหนูเช็ดมือของตัวเอง
- ขอให้เปิดหน้าต่างเพื่อระบายอากาศประมาณ 2 ครั้งต่อ 1 ชั่วโมง
- สิ่งของที่ใช้ร่วมกับผู้อื่น (รีโมทคอนโทรล ตู้เย็น สวิตช์ไฟฟ้า ทีวีเปาผม) เมื่อใช้แล้ว ขอให้ทำการฆ่าเชื้อด้วย
- หลังใช้ห้องสุขาให้ปิดฝาชักโครกก่อนแล้วค่อยกดชักโครก

【เมื่อทานอาหาร】

- ก่อนทานอาหาร หลังทานอาหาร ขอให้ล้างมือด้วย ผ้าขนหนูเช็ดมือขอให้ใช้ของตัวเอง
- เวลาทานอาหารขอให้นั่งเรียงกันไปทางด้านข้างเก้าอี้ที่ทำได้
- การทานอาหารขอให้เตรียมภาชนะจานแยกส่วนตัวของใครของมัน



เมื่อใช้ชีวิตร่วมกับคนอื่น ๆ

【เวลาอาบน้ำ】

- ขอให้ใช้ผ้าเช็ดตัวของตัวเอง
- ขอให้ผลัดกันใช้ห้องอาบน้ำตามลำดับที่ละคน

【เวลานอน】

- ขอให้พยายามเว้นระยะห่างจากคนอื่นที่นอนห้องเดียวกันเท่าที่ทำได้
- ขอให้ตำแหน่งศีรษะอยู่คนละตำแหน่งของกันและกันในเวลานอนเท่าที่จะทำได้

ขอให้ระมัดระวังอาการโรคลมแดดด้วย

- เพื่อป้องกันอาการโรคลมแดด ให้เปิดหน้าต่างเพื่อระบายอากาศ ปรับตั้งอุณหภูมิของเครื่องปรับอากาศบ่อยๆ ขอให้หลีกเลี่ยงความร้อน
- ในสภาวะอากาศร้อนและมีความชื้นสูงเมื่ออยู่ข้างนอกหากรักษาระยะห่างที่เหมาะสมระหว่างผู้อื่นได้ (ตั้งแต่ 2 เมตรขึ้นไป) ขอให้ถอดหน้ากาก
- เมื่อสวมหน้ากากอนามัย หลีกเลี่ยงการทำงานหนักหรือการออกกำลังกายหักโหม ถอดหน้ากากเพื่อผ่อนคลายตามสมควร เมื่อสามารถรักษาระยะห่างระหว่างผู้คนรอบข้าง
- ขอให้ดื่มน้ำแม้ไม่รู้สึกกระหายน้ำ (ใน 1 วันควรดื่มน้ำประมาณ 1.2 ลิตร)
- เมื่อรู้สึกอยากอาเจียน วิงเวียนศีรษะ ขอให้แจ้งผู้กำกับดูแลการฝึกงานด้านเทคนิคและผู้กำกับดูแลด้านการใช้ชีวิตทันที ทำให้ร่างกายเย็น ดื่มน้ำ เมื่อรู้สึกไม่สบาย ขอให้พักอยู่ที่บ้านพัก



※เมื่ออยากทราบรายละเอียดเพิ่มเติม กรุณาเข้าไปดูที่เว็บไซต์ด้านล่างนี้

- ข้อมูลเกี่ยวกับการป้องกันโรคติดเชื้อไวรัสโคโรนาสายพันธุ์ใหม่

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00046.html

- ข้อมูลละเอียดเกี่ยวกับการป้องกันโรคลมแดด

<https://www.otit.go.jp/heatstroke/>

โฮมเพจกระทรวงสาธารณสุขแรงงานและสวัสดิการ

โฮมเพจองค์กรฝึกงานด้านเทคนิคสำหรับชาวต่างชาติ



กระทรวงสาธารณสุขแรงงานและสวัสดิการ * กระทรวงยุติธรรม สำนักงานตรวจคนเข้าเมือง



To all Technical Intern Trainees

Precautions for the New Coronavirus Infectious Disease (COVID-19)

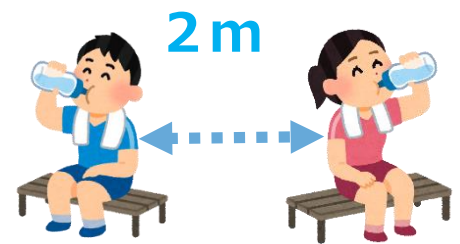
Before going to work

- Take your temperature.
 - ① You have a temperature of 37.5°C or higher.
 - ② You have cold symptoms and feel sluggish, etc.
- If you feel different and unwell, please contact your technical intern instructor or your daily life instructor.



When going out

- If you are not feeling well, refrain from going out.
 - Wear a mask when going out.
- During hot days, be careful from heat stroke and remove your mask when you are outdoors and 2 meters away from other people .



When you return home

- Wash your hands thoroughly with soap and water.
Use your own towel.
- When throwing away used masks, tissues, gloves, etc., make sure to firmly close the opening of the garbage bag so that others won't touch it.



When you are living together with other people

- Even at home, maintain a 2 meter distance away from other people.
- During conversations, wear a mask and avoid loud voices.
- Wash your hands after sneezing or coughing.
Use your own towel.
- Open the windows twice every hour to replace the air.
- Disinfect after using things (remote control, refrigerator, lighting switch, dryer) you share with other people.
- Close the cover of the toilet bowl and flush it after using.

【When having a meal】

- Wash your hands before and after eating.
Use your own towel.
- As much as possible, sit side by side (keep distance) when eating.
- Prepare each meal on a separate plate.



When living together with other people

【When taking a bath or shower】

- Use your own towel.
- Take turns when using the bathroom.

【When sleeping】

- If you are sleeping with other people in the same room, maintain distance as much as possible.
- When sleeping, your head should be in an alternate position from others.

Let's be careful of heat stroke

- To prevent heat stroke, open the windows and replace the air. Adjust the temperature setting of the air conditioner frequently to avoid heat.
 - Remove the mask when the temperature and humidity are high, and if you are outside and you are away 2 meters or more from other people.
 - Avoid strenuous exercise when wearing a mask, and temporarily take off the mask and take a break in a place where you can keep a sufficient distance from people around you.
 - Drink water even if you are not thirsty (approximately 1.2 liters a day).
 - If you feel nausea or dizziness, immediately tell your technical instructor or your life instructor.
- Keep your body cool and drink water. If you are not feeling well, take a rest at home.



※ For more details, please visit the website below.

■ Prevention of coronavirus infectious disease (COVID-19)

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00046.html

■ Prevention of heat stroke

<https://www.otit.go.jp/heatstroke/>



Ministry of Health,
Labor and Welfare
HP



Organization for Technical
Intern Training
HP



Ministry of Health, Labour and Welfare · Ministry of Justice, Immigration Bureau

ការប្រុងប្រយ័ត្ននៃការឆ្លងមេរោគវីរុសថ្មីកូរ៉ូណា

ពេលមុនចេញទៅធ្វើការ

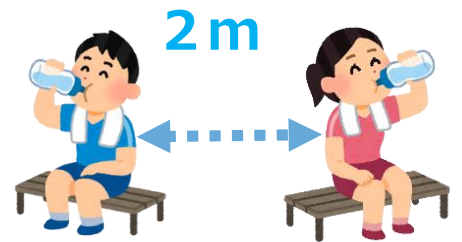
- វាស់កម្ដៅរបស់អ្នកដោយប្រើទែម៉ូម៉ែត្រ ① កម្ដៅលើសពី ៣៧.៥ អង្សា ② មានរោគសញ្ញាដូចជា វិលមុខជាដើម។

ប្រសិនបើអ្នកមានអារម្មណ៍ថាមិនស្រួលខ្លួនសូមទាក់ទងទៅអ្នកគ្រប់គ្រងនៅកន្លែងធ្វើការ ឬអ្នកមើលការខុសត្រូវការរស់នៅរបស់អ្នក។



ពេលចេញទៅក្រៅ

- សូមកុំចេញទៅក្រៅនៅពេលអ្នកមានអារម្មណ៍ថាមិនស្រួលខ្លួន
- សូមពាក់ម៉ាស់ពេលចេញទៅខាងក្រៅ។ នៅថ្ងៃក្ដៅខ្លាំងសូមប្រុងប្រយ័ត្នចំពោះជំងឺរង្វង់ក្ដៅហើយរក្សាគន្លាតពីអ្នកដទៃ អោយបាន (២ ម៉ែត្រ) ឡើងទើបអាចដោះម៉ាស់ចេញបាន។



នៅពេលត្រឡប់មកពីខាងក្រៅវិញ

- ត្រូវលាងដៃជាមួយសាប៊ូហើយប្រើប្រាស់កន្សែងផ្ទាល់ខ្លួន។
- ម៉ាស់ស្រោមដៃឬក្រដាសជូតមាត់ដែលត្រូវបានប្រើប្រាស់រួចហើយសូមបោះចោលក្នុងថង់សំរាមមិនអោយអ្នកផ្សេងប៉ះពាល់ហើយចងថង់សំរាមអោយបានជិតល្អ។



នៅពេលដែលអ្នករស់នៅជាមួយគ្នាជាមួយអ្នកផ្សេងទៀត

- សូមរក្សាគន្លាតអោយបាន (២ ម៉ែត្រ) ទោះបីជានៅក្នុងផ្ទះក៏ដោយ។
- ពាក់ម៉ាស់ការពារក្នុងការសន្ទនាហើយចៀសវាងការនិយាយខ្លាំងៗ។
- សូមលាងដៃរបស់អ្នកបន្ទាប់ពីក្អកឬកណ្តាប់។ ប្រើប្រាស់កន្សែងផ្ទាល់ខ្លួន។
- ដើម្បីអោយមានខ្យល់ចេញចូលសូមបើកបង្អួចអោយបាន ២ ដងក្នុងរយៈពេល ១ ម៉ោង។
- របស់ដែលប្រើប្រាស់ជាមួយគ្នាដូចជា (ទូទឹកកក, កុងតាក់ភ្លើង, ទេលេនិងម៉ាស៊ីនសម្អាត) សូមជូតជាមួយអាកុលបន្ទាប់ពីប្រើប្រាស់រួច។
- បន្ទាប់ពីប្រើប្រាស់បង្គន់រួចសូមបិទគំរប់ហើយកាច់បង្គន់ទឹក។

[នៅពេលញ្ជាំអាហារ]

- សូមលាងដៃមុននិងក្រោយញ្ជាំអាហាររួច។ ប្រើប្រាស់កន្សែងផ្ទាល់ខ្លួន។
- នៅពេលអ្នកញ្ជាំអាហារសូមជៀសវាងការអង្គុយទល់មុខគ្នា។
- សូមប្រើប្រាស់បានរៀងៗខ្លួននៅពេលញ្ជាំអាហារ។



នៅពេលដែលអ្នករស់នៅជាមួយអ្នកផ្សេង

[នៅពេលដូតទឹក]

- សូមប្រើប្រាស់ក្រម៉ាផ្ទាល់ខ្លួន។
- សូមដូតទឹកម្តងម្នាក់ៗតាមលេខរៀង។

[នៅពេលគេង]

- នៅពេលដែលអ្នកគេងជាមួយអ្នកផ្សេងក្នុងបន្ទប់តែមួយសូមគេងអោយឆ្ងាយពីគ្នាដែលអាចធ្វើទៅបាន។
- សូមគេងកុំបែរមុខរកគ្នាតាមដែលអ្នកអាចធ្វើបាន។

សូមប្រុងប្រយ័ត្នជំងឺរដូវក្តៅទាំងអស់គ្នា

- ដើម្បីបង្ការកុំអោយកើតជំងឺរដូវក្តៅសូមបើកបង្អួចឬកង្ហារដើម្បីអោយមានខ្យល់ចេញចូល។

កំណត់សិក្សាភាពម៉ាស៊ីនត្រជាក់អោយបានត្រឹមត្រូវហើយសូមជៀសវាងនៅកន្លែងដែលមានកំដៅក្តៅខ្លាំង។

- នៅពេលដែលអ្នកនៅខាងក្រៅហើយមានកំដៅក្តៅខ្លាំងអ្នកអាចដោះម៉ាស់ចេញបាននៅពេលដែលអ្នករក្សាគន្លាតពីគ្នា (ច្រើនជាង 2 ម៉ែត្រ) ។

- សូមជៀសវាងការហាត់ប្រាណនៅថ្ងៃដែលមានកំដៅខ្លាំងហើយសូមរក្សាគន្លាតអោយបានគ្រប់គ្រាន់ដើម្បីសម្រាកនឹងដោះម៉ាស់ជាបណ្តោះអាសន្នបាន។

- ទោះបីជាមិនស្រេកទឹកក៏ដោយសូមបរិភោគទឹកអោយបានច្រើន (១.២ លីត្រក្នុងមួយថ្ងៃ) ។

- ប្រសិនបើអ្នកមានអារម្មណ៍មិនស្រួលខ្លួនឬចង់ក្អកសូមទាក់ទងទៅអ្នកមើលការខុសត្រូវរបស់អ្នកឬគ្រូនៅសហជីពអោយបានភ្លាមៗ។

សូមនៅកន្លែងដែលមានកំដៅសមរម្យហើយបរិភោគទឹកអោយបានច្រើន។ សំរាកនៅផ្ទះប្រសិនបើអ្នកមានអារម្មណ៍មិនស្រួលខ្លួន។



※ ព័ត៌មានលម្អិតសូមចូលមើលគេហទំព័រខាងក្រោម

■ ព័ត៌មានស្តីពីការឆ្លងមេរោគរីសូ

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00046.html

■ ព័ត៌មានស្តីពីជំងឺរដូវក្តៅ

<https://www.otit.go.jp/heatstroke/>

គេហទំព័រនៃក្រសួងសុខាភិបាល

គេហទំព័រនៃអង្គការហ្វឹកហ្វឺនបច្ចេកទេសបរទេស



ក្រសួងសុខាភិបាលនិងការិយាល័យរដ្ឋបាលអន្តោប្រវេសន៍នៃក្រសួងយុត្តិធម៌

អង្គការហ្វឹកហ្វឺនបច្ចេកទេសបរទេស

LL020827開海01

ကိုဗစ်-၁၉ မှ မကူးဆက်စေရန် သတိထားရမည့် အချက်များ

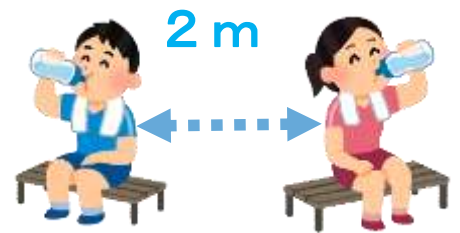
အလုပ်မသွားမီ

- ကိုယ်ပူချိန်တိုင်း ကရိုယာဖြင့် ကိုယ်ပူချိန်ကို တိုင်းပါ။
- ① ကိုယ်ပူချိန် 37.5°C ကျော်၍
- ② ကိုယ်လက် နှမ်းနယ်နေပြီး သာမန်အခြေအနေနှင့်မတူ အအေးမိသကဲ့သို့ ဖြစ်နေပါ အလုပ်သင်ဆရာ သို့မဟုတ် ညွှန်ကြားရေးဆရာကို သတင်းပို့ပါ။



အပြင်ထွက်သည့်အခါ

- ကိုယ်လက် နှမ်းနယ်နေပြီး သာမန်အခြေအနေနှင့်မတူသည့်အခါ၊ အပြင်ထွက်ခြင်းမှ ရှောင်ရှားကြပါစို့။
- မျက်နှာအုပ်ကို Mask ကို အသုံးပြု၍ အပြင်ထွက်ကြပါစို့။ သို့သော် အပူအရှုပ်စေရန် အဆောက်အဦး ပြင်ပတွင် တစ်ခြားသူနှင့် (၂မီတာကျော်) ကွာနေပါက မျက်နှာအုပ်ကို ချွတ်ထားကြပါစို့။



ပြင်ပမှ ပြန်လာသည့်အခါ

- ဆပ်ပြာဖြင့် သေသေချာချာ လက်ကို ပွတ်တိုက် ဆေးကြောပါ။ မိမိတစ်ယောက်တည်းသုံး မျက်နှာသုတ်ပဝါကို အသုံးပြုပါ။
- အသုံးပြုပြီးသောမျက်နှာအုပ်၊ တစ်ရှူး၊ လက်အိပ်များကို စွန့်ပစ်သည့်အခါ၊ တစ်ခြားသူများ ကိုင်တွယ်ထိတွေ့မှုမရှိစေရန် အမှိုက်အိပ်အတွင်းသို့ထည့်၍ အဝကို သေချာစွာစီးပိတ်စေလိုပါသည်။



တစ်ခြားသူများနှင့် အတူတစ်ကွ နေထိုင်ပါက

- အိမ်အတွင်း တွင်ပင် တစ်ခြားသူများနှင့် (၂မီတာကျော်) ခွာ၍ နေထိုင်ကြပါစို့။
- စကားပြောသည့်အခါ မျက်နှာအုပ်ကို အသုံးပြု၍ အသံကျယ်လောင်စွာ မပြောဆိုပါနှင့်။
- ချောင်းဆိုး၊ နှာချေပြီးသည့်အခါ သေသေချာချာ လက်ကို ပွတ်တိုက် ဆေးကြောပါ။ မိမိတစ်ယောက်တည်းသုံး လက်ကိုင်ပဝါကို အသုံးပြုပါ။
- ၁ နာရီ ၂ နာရီလျှင် တစ်ကြိမ်ခန့် ပြုတင်းပေါက်များကို ဖွင့်ကာ လေဝင်လေထွက် ကောင်းအောင် ပြုလုပ်ကြပါစို့။
- တစ်ခြားသူများနှင့် အတူတစ်ကွ အသုံးပြုနေသော ရိမ့်ကွန်း၊ ရေခဲသေတ္တာ၊ မီးခလုပ်၊ ဆံပင်အခြောက်ခံစက်များကို အသုံးပြုပြီးလျှင် ပိုးသပ်ပေးစေလိုပါသည်။
- အိမ်သာသွားပြီးလျှင် အဖုံးအုပ်ပြီး ရေဆွဲချပေးစေလိုပါသည်။

【အစားအသောက် စားသုံးသောအခါ】

- အစားအသောက် စားပြီးပါက လက်ကို သေသေချာချာ ပွတ်တိုက် ဆေးကြောပါ။ မိမိတစ်ယောက်တည်းသုံး လက်သုတ်ပဝါကို အသုံးပြုပါ။
- အစား စားသည့်အခါ တတ်နိုင်သမျှ ဘေးချင်းကပ်၍ ထိုင်ပေးစေလိုပါသည်။
- အစားအသောက်ကို တစ်ဦးချင်း ပန်းကန်သီးခြားစွာ အသုံးပြုကြပါစို့။



တစ်ခြားသူများနှင့် အတူတစ်ကွ နေထိုင်ပါက

【ရေချိုးသည့် အခါ】

- မိမိတစ်ယောက်တည်းသုံး မျက်နှာသုတ်ပဝါကို အသုံးပြုပါ။
- တစ်ဦးစီ အလှည့်ကျ ရေချိုးခန်းကို အသုံးပြုကြပါစို့။

【အိပ်ယာဝင်သည့် အခါ】

- တစ်ခန်းထဲတွင် သူများနှင့် အတူတူ အိပ်စက်ပါက၊ တတ်နိုင်သမျှ ခွာ၍ အိပ်စေလိုပါသည်။
- တတ်နိုင်သမျှ ဦးခေါင်းနေရာကို မတူအောင် ပြုလုပ် နေပေးစေလိုပါသည်။

အပူမရှုပ်စေရန် သတိထားကြပါစို့။

- အပူမရှုပ်စေရန် ပြုတင်းပေါက်ကို ဖွင့်၍ လေဝင်လေထွက် ကောင်းအောင် ပြုလုပ်ကြပါစို့။
အဲယားကွန်းကို အပူချိန်မကြာခဏ ညှိ၍၊ အပူဒဏ်မှ ရှောင်ရှားကြပါစို့။
- အပူချိန်၊ စိုထိမ်းမှု မြင့်နေချိန်တွင် အဆောက်အဦး ပြင်ပတွင် တစ်ခြားသူနှင့် (၂မီတာကျော်) ကွာနေပါက မျက်နှာအုပ်ကို ချွတ်ထားကြပါစို့။
- မျက်နှာအုပ်ကို အသုံးပြုနေပါက ပြင်းပြင်းထန်ထန် ကိုယ်လက် လှုပ်လျှားမှုကို ရှောင်ရှားပါ။
ပါတ်ဝန်းကျင်မှ တစ်ခြားသူနှင့် လုံလောက်သော အကွာရှိပါက မျက်နှာအုပ်ကို တစ်ခဏ ချွတ်ခါ အနားယူကြပါစို့။
- ရေမဆာသော်လည်း မကြာခဏ ရေသောက်ပေးပါ။ (ခရက်လျှင် ၁.၂ လီတာ)
- အန်ချင်စိတ်ရှိသည့်အခါ၊ မူးမိုက်သည့်အခါ ချက်ခြင်း အလုပ်သင်ဆရာ သို့မဟုတ် နေထိုင်မှု ညွှန်ကြားရေးဆရာကို တင်ပြပါ။
ခန္ဓာကိုယ်ကို အေးအောင်ပြုလုပ်၍ ရေသောက်ပေးပါ။
ကိုယ်လက် မအိမ်သာ ဖြစ်ပါက၊ အိမ်တွင် အနားယူကြပါစို့။



※ ပိုမို၍ အသေးစိတ် သိလိုပါက အောက်ပါ အင်တာအက် ဆိုဒ်သို့ ဝင်ရောက်လေ့လာနိုင်ပါသည်။

■ ကိုဗစ်-၁၉မှ မကူးဆက်စေရန်

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyuukokukanri10_00046.html

■ အပူမရှုပ်စေရန်အတွက်

<https://www.otit.go.jp/heatstroke/>

အလုပ်သမားရေးရာဝန်ကြီးဌာန
Homepage



နိုင်ငံခြားသား အလုပ်သင် သင်တန်းသား ကြီးကြပ်ရေး ဌာန
Homepage



ကျန်းမာရေးနှင့် အလုပ်သမားရေးရာဝန်ကြီးဌာန၊ တရားရေးဝန်ကြီးဌာန လူဝင်မှု ကြီးကြပ်ရေး ဦးစီးဌာန၊
နိုင်ငံခြားသား အလုပ်သင် သင်တန်းသား ကြီးကြပ်ရေး ဌာန

LL020827開海01